

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2018年度 パフォーマンス向上会議情報(2018年5月23日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年5月23日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	<p>【集中監視室におけるサブドレン水位表示の不具合について】 通信異常により集中監視室においてサブドレン水位が表示できなくなる不具合が発生。 直ちに現場の制御装置において全てのサブドレン水位が監視できていること、並びに建屋水位とサブドレン水位が逆転していないことを確認。 原因調査の結果、通信用光ケーブル心線の断線と分かり、予備心線に接続変更して復旧。 この際、不具合発生により運転上の制限*を満足できないと判断し、宣言したが、復旧により宣言を取り下げ。 * 運転上の制限(概要) ・建屋水位とサブドレン水位を毎日1回確認すること。 ・建屋水位とサブドレン水位が逆転していないこと。</p>	G II
2	<p>【貯留タンク水位等の監視システムサーバー(2系)の停止について】 貯留タンク水位等の監視システムに使用しているサーバー(2系)(待機側)が「機器故障」表示により停止。 監視システムについては、サーバー(1系)により正常に動作を継続。 故障したサーバー(2系)については、原因調査中。</p>	G III